（公社）日本建築士会連合会

災害対策委員会からのお知らせ

FREE

『浸水被害住宅の技術対策マニュアル』

出水期に入って早々、台風2号/梅雨前線などによる浸水被害が発生しています。応急・復旧対応にぜひご活用ください。

連合会ホームページからダウンロードできます。↓

https://www.kenchikushikai.or.jp/data/saigai-taiou/202306_info_1-3.pdf

こちらの二次元バーコードからもダウンロードできます→→→

『浸水被害住宅の技術対策マニュアル』が完成しました！

近年の多種多様な災害に対し、一定の技術を有する「技術ボランティア」と呼ばれる人々が被災地で活躍しつつある中、被災住宅等の安全確保のための応急措置や災害後の復旧を円滑に進めるうえで、行政や建築士会等の組織と技術ボランティアらとの適切な協働が望まれています。

そこで、被災地の建築士の体験を通して得られた災害復旧対策の知見と貴重な体験データを集約し、実用的なマニュアルにまとめることとしました。

マニュアルの内容

第１章　はじめに
第２章　被災住宅の応急処置と応急復旧工事
第３章　被災住宅の相談窓口業務
第４章　被災住宅の応急復旧体制の提案

実用的な内容が満載♪

応急処置を急ぎたい建物のトリアージ方法や、被災地相談窓口での具体的な相談事例等…
いろいろ載ってます！

目次

第１章　はじめに

１．マニュアルの考え方と利用方法　０１

２．応急措置での基本的な注意点　０１

第２章　被災住宅の応急処置と応急復旧工事

１．水害後の復旧までの流れと注意点　０８

２．水害後の復旧までの作業の詳細　１０

３．復旧に当たっての注意点と推奨する施工方法　３３

４．応急修理から本格的な復旧に向けて　４２

第３章　被災住宅の相談窓口業務

１．相談内容の経過と分類　４９

２．台風豪雨災害における相談活動の状況　５４

３．相談員の心得　６１

４．相談事例集

５．相談票の書式例と参考資料　８

第４章　被災住宅の応急復旧体制の提案

１．応急復旧体制の概要　７４

２．応急復旧協力会の役割　７５

３．応急復旧活動のフローと内容　７８

４．応急復旧協力会の参考資料　８２

５．応急復旧工事の概算費用

６．復旧工事概算費用算出シート

具体的な
相談事例を
Q&Aで掲載

相談が一番多い
「業者選定」と
「概算工事費」について
対応可能な体制構築
を提案

応急処置と応急復旧工事

＊解体か？応急処置か？？トリアージが必要

＊応急処置といえど、将来のリフォーム等を考慮する

＊なるべく合理的かつ柔軟な対策を施す

＊カビ発生防止対策や躯体構造の補強も大事

第２章　被災住宅の応急処置と応急復旧工事

１．水害後の復旧までの流れと注意点

水害の中でも、「浸水被害」における発災直後から復旧までの一般的な作業の流れを示します。応急修理までの作業を示し、その後の本格復旧に関しては本マニュアルでは触れません。

トリアージ

対応すべき事項	注意すべき事項
❶ 水が引くまで待つ	・水流が激しい場所や浸水している時間が長いと床や壁、設備等への影響が拡大して、復旧が困難となる。
❷ 被災状況写真撮影	・建物周囲全ての面と浸水した各部屋の被災状況をできる限り多く撮影する。
❸ 排　水	・水は何が混じっているかわからない「汚水」であることを認識し、作業は衛生管理に注意する。 **※ここからの作業は被災状況から「解体」と決断した場合は、家財の整理等の必要な作業のみ行うことも検討する。**
❹～❾は状況に応じて同時に行う項目がある。	
❹ 家財の搬出・移動	・泥出し、応急修理や復旧に不可欠な作業である。 ・合板使用の家具は一般的には使用不可と判断する。 ・「生活ごみ」と「災害廃棄物」は区分し、アスベストに注意する。
❺ 床仕上材等の撤去	・仕上げ材の材質と被害状況や基礎の高さ（人が入れるか否か）によって撤去するか否かを判断する。
❻ 泥（堆積物）の除去	・基礎形式（べた基礎か布基礎等）で対応が異なる。必要により床材を剥ぎ、水洗いを同時に行う。 ・布基礎のときは元の土をできる限り残して除去する。
❼ 壁仕上材等の撤去	・内壁と外壁、また仕上げ材料によって撤去方法が異なる。 ・グラスウール等は乾かず、カビ発生の要因となるため撤去する。
❽ 設備の点検	・“使えそう”の判断はやめ、実際に使えても危険性があるため専門業者に点検を依頼する。
❾ 設備機器の撤去	・浸水した配管類の保温材（グラスウール等）は撤去する。 ・グレードを上げると応急修理の対象外となることに注意する。
❿ 消　毒	・用途に合わせて薬剤を選ぶ。 ・カビ防止目的の水溶性薬剤は濡れた部分は効果が低い。
⓫ 乾　燥	・自然乾燥は２か月以上要する。床下などに扇風機等で送風する。 ・防犯上から締め切る場合は換気扇を作動させるなど工夫する。
応急修理の実施	

地盤改良杭が露出した住宅

基礎下部が流失した住宅

原則解体

河川の流出土砂で埋まった住宅

土石流の被害を受けた住宅

トリアージ

判断例を紹介

基礎や地盤が良好で建物の損傷も軽い場合

応急処置